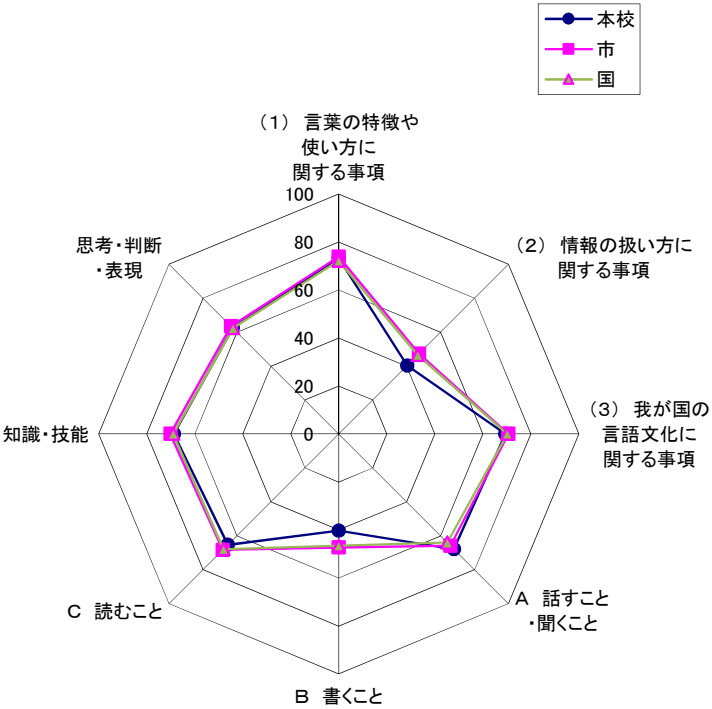


宇都宮市立雀宮中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	73.2	73.8	72.2
	(2) 情報の扱いに関する事項	40.3	47.3	46.5
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	69.4	70.7	70.2
	A 話すこと・聞くこと	67.9	65.9	63.9
	B 書くこと	40.3	47.3	46.5
	C 読むこと	65.4	68.3	67.9
観点	知識・技能	68.7	70.2	69.0
	思考・判断・表現	62.5	63.6	62.3
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や 使いに関する事項	平均正答率は市より0.6p下回り、国より1p上回っている。 ○「自分の考えを分かりやすく伝えるように表現を工夫して話す」は市より4.6p、国より4.8p上回っている。 ●「表現の技法について理解する」は市より5.1p、3.1p下回っている。	・文章の中に使われている表現技法に着目させ、表現技法を使うことで、どのような効果があるか考えさせる。また、自分の考えを文章に書く際に表現技法が効果的に使えるように支援する。また、表現技法の種類や使い方を再度指導し、様々なところで使えるように助言する。
(2) 情報の扱い方に関する事項	平均正答率は市よりも7p、国より6.2p下回っている。 ●「自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く」は市より7.4p、国より6.2p下回っている。	・説明的文章を学習する際に、資料を読み、効果的な資料の読み取り方伝える。また、必要な情報を引用して意見文が書けるようにするために、根拠を明確にして自分の考えが伝わるように書く練習を繰り返す。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は市より1.3p、国より0.8p下回っている。 ○「行書の特徴を理解する」は市より2.5p、国より3.4p上回っている。 ●「漢字の行書の読みやすい書き方について理解する」市より4.1p、国より3.9p下回っている。	・行書の特徴を踏まえた書き方について説明し、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解させるように授業を工夫していく。
A 話すこと・聞くこと	平均正答率は市より2p、国より4p上回っている。 ○「聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する」では市より4.8p、国より3.3p上回っている。「自分の考えを分かりやすく伝えるように表現を工夫する」では市より4.6p、国より4.8p上回っている。	・話し合いの話題や話の内容を的確に捉えて話したり、相手の発言に注意したりして、自分の考えをまとめる力を身につけさせる。また、必要に応じて質問しながら相手の意見を聞き、自分の考えとの相違点や共通点を整理できるように指導する。
B 書くこと	平均正答率は市よりも7p、国より6.2p下回っている。 ●「自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く」は市より7.4p、国より6.2p下回っている。	・資料を読み、必要な情報を引用して意見文が書けるようにするために、資料の読み取り方を分かりやすく説明する。また、授業において読み取った情報をもとに、自分の考えの根拠を明確にして自分の考えが伝わるように書く練習を繰り返す。
C 読むこと	平均正答率は市より2.9p、国より2.5p下回っている。 ●「場面の展開登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える」では市より0.4p、国より1.6p下回っている。「場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を理解する」では市より2.8p、国より3.4p下回っている。	・文章の場面の展開や登場人物の言動や行動に注意して内容を読み取れるように指導する。また、文章に表現されている語句からもの見方や考え方を捉えて、自分の考えを深められるように授業内で支援する。また、説明的文章では接続表現に着目して読み進めるようにその都度注意を促す。